

# 周 達生 △国立民族学博物館客員研究員▽ ミャオ族のなれずし

このところ毎年単身で一、二回中国を訪れているが、昨年末は、佐々木高明教授を団長とする国立民族学博物館のメンバーのひとりとして、計五人で行った。雲南省西双版纳タイ族自治州では、タイ族、プラン族、ハニ族、チイノール族の村を調査した。タイ族の村は、一九七八年にも訪れたことがあり私にとっては二度目。だが、今回は一層広く歩きまわったことになる。帰途の貴州省での数日は貴陽からブイ族の村を素通りして、黔东南ミャオ族トン族自治州へ直行した。一九七九年、民博の梅棹忠夫館長が、解放後初めて入られた



ミャオ族の民族舞踊<'80, 12>/筆者撮影

のについて、今回の民博のチームが二度目の外国からの訪問者になった。

さて、日本では、外国からの客を迎えて、スシをさも日本料理の典型であるかのようにして勧めることがある。また、中国でも、日本人がいう中国人、つまり圧倒的多数を占める漢族は、やはりスシを日本独特のものと思っている。

スシはスシでも、ニギリズシの場合なら、江戸時代に始まる日本独特のものであるけれど、それは早ズシの一種として考案されたものであり、スシの古い形態のものは、今でも琵琶湖周辺に残るあのフナズシのような形態のもの、つまりナレズシであった。このナレズシなら、実は中国の食物史の文献をたんに調べるとうわかるが古くから中国にあったのであるが魚などを食べないモンゴル族の王朝の元以来、漢族世界から消失してしまったのにすぎない。

だが、中国は漢族だけの国家ではない。五十五の少数民族があり、民族識別の研究がまだ終わっておらず、暫時シエルパ人とか、白馬

人とか、「人」をつけたままの「民族」集団がまだいくつもあり、今後の研究結果次第で、さらに単一民族とすべき民族の現われる可能性もある。その中国の少数民族中には、いまだにナレズシを作っているのがるのである。

私たちの訪れたミャオ族の場合、イロリの上の火棚でくん製にした鯉とモチゴメを蒸したのを用いて作るのがあり、同じくん製の鯉とモチゴメ・ウルチゴメのそれぞれの製粉したのを用いて作るのもあった。なお、トン族やヤオ族の場合は、くん製でなく、生魚を用いてそれを作る。いうまでもないことかも知れないが、このナレズシを作るといふ文化要素は、いわゆる照葉樹林文化の一要素であるにすぎず、本来ヒマラヤ東部から日本にまでつながる照葉樹林帯に共通するものであった。今でこそ琵琶湖とか、貴州省とか、その他の一部地方に、地方文化としか思えぬ形で残存するにすぎないが目をつぶって過去の時間をたどるとすれば、それは広域の空間にひろがっていたものであった。

地方文化には、一狭小地域しか存在しないという特殊なものもあるけれども、このように、広域にあったものが、最後は点、点としか残っていないというのもあるのである。

〈特集〉

ポートピア'81の中の文化探検

I

●テーマ館/ファッションライヴシアター/住友館  
サントリー「ウォーターランド」/サンヨーソーラリアム  
ダイエービビオン/ポートピアランド/南公園  
ポートピアサーカス/パンダ広場

びっくりしたゾウ！  
ほんとだゾウ！

新井 満(シンガーソングライター)



ハ克蘭会って何？

つらつら思うに結局の所は見せ物小屋でしょ、ちょっと仕掛けの大きい。昔で言えばロクロ首にひとつ目小僧。それが珍獣パンダに変わっただけで、本当はネス湖のネッシーにヒマラヤの雪男あたりを連れて来て欲しかったんだけど、マ、しゃあない。要するにハ克蘭会とは限りなく珍ラカナルモノを寄せ集めて来て、どうや、スゴイヤロ？オモロイヤロ？と人々を驚かす所に基本的なコンセプトがあるのであります。

そういたしますと、ハ克蘭会のそれも娯楽担当のルポ引受人としましては次のような姿勢で神戸大橋を渡らねばならない。

びっくりしたいというのが僕の願なんです。不思議な宇宙を驚きたいという願なんです……。

(国木田独歩「牛肉と馬鈴薯」)

さア、びっくりするゾウ。何としてでも、どんなことがあっても、入場料二千円分はきつとびっくりして帰るゾウ。かくの如く重大なる決意のもとに私は開幕直後のポートピア'81会場へ、神戸っ子の美人編集員S嬢とユニークカメラマンT君を引き連れて乗り込んだのでありま

した。

☆

☆

「あッ、あの美女は誰だ?」

ゲートを入った所で、どこかで逢ったことのある美女二名。ニコニコしながら向こうから近づいて来ます。

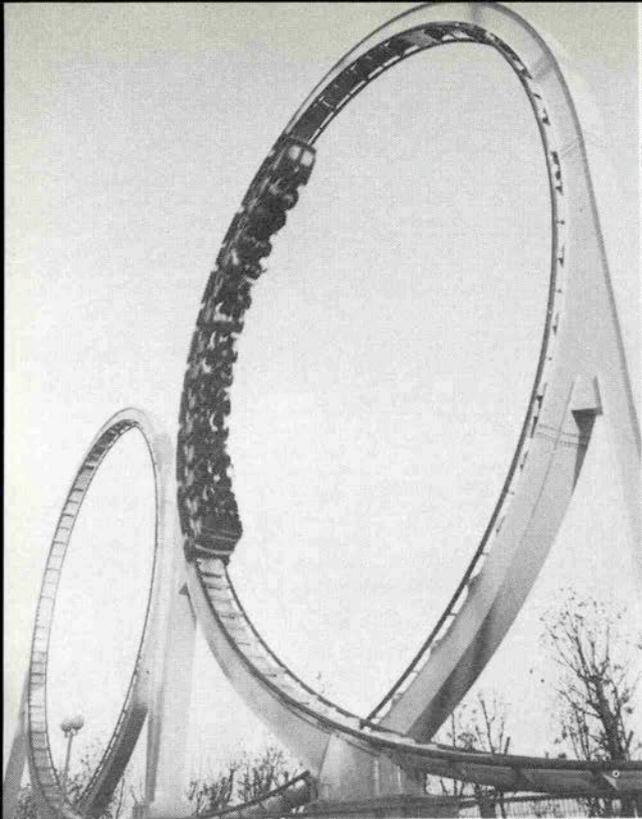
「マンさん、久しぶり!」

「ギャッ、そういうあなた方はポートピアガールズのお二人ではないか? どうしたん? こんなに痩せ細って?」

「ええ、半年間、日本中をPRして回っているうちに5kgも痩せちゃったんです」

びっくりしたなア。健康優良児然としていた半年前の面影今いずこ。瞬間私は、あの演歌の名曲「くちなしの花」の一節を思い出してしまった。イーマでは指輪もマワるほど——。そうして、もう一度びっくりしたのは彼女らのあざやかな変身ぶり。いやア美しくなったなア……。人間、緊張感が続くとこんなにも美しくなれるんだねエ……。では一発記念写真。

ポートピアガールズの着ているファッション、あれ全部カネボウ化粧品品の提供なんです、そのタイアップが私にまとめたこともあって彼女達のその後が、わが娘の如く気になっていたのです。ああ良かった、こんなにキレイになって、きつとイイ嫁さんになれるゾ。



ギャー、地球の引力に逆らうなんて……神を恐れめ仕事だ！



ポートピアガールズに囲まれて、うれし恥ずかし。

会場内には彼女達の他にコンパニオンガールやバビリオンの案内嬢など。ビチビチカピカのお嬢さん達がごまんといます。気軽に話しかけましょう。写真とりましょう。握手しましょう。そして半年後にまた再会して彼女達が5kgの減量に見事成功しているかどうか確めに行つてびっくりしましょう。

「あー、マンさん、女の子ばかりジロジロ見ないで、もっとハ克蘭会の中身に迫って欲しいんですが……」と神戸っ子の美人編集員が文句を言う。

「そうだそうだ」とカメラマン氏。

☆

☆

ではバビリオンの駆け足見物記。

テーマ館、大してびっくりしないねエ。見ものはエノチュー氏作、宇宙廃品艦くらい。

ハイオービス劇場、正面両サイドの大型画面の画質の悪さにびっくりぎょうてん。

ファッショナライブシアター、出口付近にたむろする異様な黒装束の清掃集団にギョッ。赤ん坊に泣かされても子供に石ぶつつけられても黙々とおそうじ続けるあの根性、エライッ！森の詩“よう出来てるワ、感心。なかなか出て来ない玉三郎人形、最後の最後にちよっとだけ出て来てクルリツと後ろ向きになってエビゾツたと思つたらすぐ引っ込んだんじやった。あの出し惜しみ精神。あれこそ色気の極地。

サントリー館、ヒマラヤの水が展示されております。見た所、わが家にある冷蔵庫の水と少しも変わつたらん。こりやびっくり。

サンヨー館、落書きビデオがサイコウ。二時間ねばって遊んでたら案内嬢にけとばされてしもた。

ダイエー館、大画面アルプス越えのシーンで隣りの子供が助けられてエー、落っこちるノと柱にしがみつかながらワメいておった。スクリーン見るより、まわりの客の方がオモロイ。急角度の斜面にセットされた椅子席なので男性は上の方をジロジロ見ないこと。女性も決してミニスカートで入場しないこと。

「あのー、マンさん、もう少し核心にふれた所でびっくりして欲しいんですけど……」と神戸っ子の美人編集員。

「そうだそうだ」とカメラマン氏。

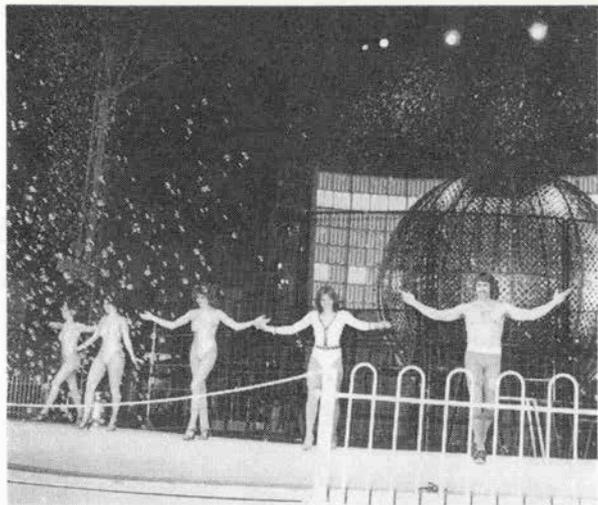
☆

☆

橋を渡って隣りのポートピアランドへ。

オーロラビジョン、世界最大のテレビなんだってこれ。ワア大きいネエ。大きいですネエ……。それだけ？うんそれだけ。

ダブルループコースター、二回転連続宙返りだゾ。いやアびっくり、ヨタヨタおってきたら首がギククリ腰、腰がムチウチ症になっておった。



サーカスの華は空中ブランコ、鍛え抜かれた肉体に編集嬢もうっとり。

バイキング、最大振角度64度の巨大なブランコ。少年の日の悪夢が今よみがえる。

ジャイアントホイール、直径61mのホイールはこれまた世界最大なんだって。一時間半並んで待ったけどまだ乗れないんだよネ、待ち時間の長さもきつと世界最大。

気分を変えて今度はポートピアサーカスへ。と言っても早い話がこれ、日本の木下サーカス団とアメリカン猛獣サーカス団の合同公演。

「ねエねエ、このサーカスの一体どこが森繁久彌さんの演出なの？」

「さア……」と神戸っ子の美人編集員。

「ほら、チンパンジーが屋根の上でパイオリン弾いてただろ？、あそこらへんかな？」

「そうだそうだ」とカメラマン氏。

☆

☆

いよいよパンダ館であります。

万博の目玉が月の石、今回の目玉は天津から借りてきた二頭のパンダ

メスのロンロン……………17歳

オスのサイサイ……………6歳

パンダの寿命は20〜25歳で、人間の歳に換算するには3を掛けたらよいそう。すると

メスのロンロン……………なんと51歳

オスのサイサイ……………まだまだ18歳とあいなる。

なんとなんと、パンダのサイサイ青年は、自分のお母さんみたいな女性と同棲させられたその上、二世誕生も夢ではないなどと一日中監視され通してことになる。

「いやア、びっくりしたゾウ、ほんとだゾウ。でも、このハクラン会で一番びっくりりぎようてん腰をぬかしてるお方は何を隠そう、あのサイサイ君ではなからうか、ねエ諸君？」と私。

「やだアもうッ」と神戸っ子の美人編集員。

「そうだそうだ」とカメラマン氏。



〈特集〉

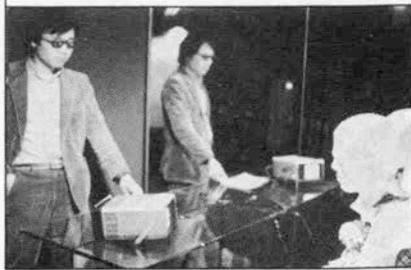
ポートピア'81の中の文化探険

II

# 映像表現の 三つの特徴

今井 祝雄 〈造形作家〉

●ダイエーパビリオン／川鉄地球館／テーマ館／神戸館／フレッシュユライフ'81／サンヨーソーラリアム／三菱未来館／兵庫縣館



まる一日かかって、ポートピア'81の「映像パビリオン」を見てまわった。と書き出して、「映像パビリオン」でないパビリオンは、たとえば何というのだろうかと思ってみたりする。そう考えてみると他にとりたてていう呼

称はないことに気付いた。

「映像パビリオン」という表現は、ある新聞で開幕前のポートピアの記事でも使っていたけれど、これは一九七〇年の万博で目白押しに登場した映像オンパレードのとき以来だろうか。もう少しさかのぼって一九六七年のモントリオール博で幾つかのマルチスクリーンが目目された頃だったか。

それはともかく、十幾つの「映像パビリオン」らしきものを見てまわって、この「映像パビリオン」ということは、もうこのポートピアを境に反古となるのではないだろうか、と思った。

たしかに文字どおりの「映像パビリオン」も二、三あった。ダイエー体験劇場は、直径二十三メートルのドームスクリーンに、魚眼レンズで撮った映画「ワールドコースター」が、二十三度の急勾配の座席中央から映写される。ぼくはちょうど映写室の真上から見たが、空中飛行のシーンなど本当に足もとがすぐわれるような感じを受けた。同じ劇場形式の川鉄地球館も、観客を宇宙船に塔乗した設定で宇宙旅行の気分にかけてくれる。中央に展開する三面のメインスクリーンとその下のサブスクリーンに加えて、手前を昇降する水平につるされた円盤型スクリーンの上下両面にも映写される。さらに臨場感を

テーマ館の「目玉」『ハイオービス劇場』

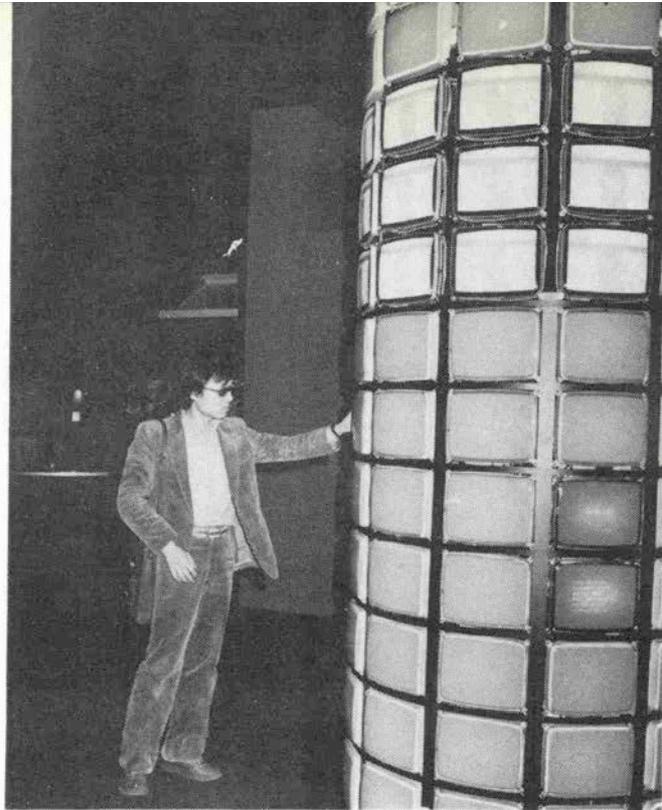
高めるために座席に振動マイク（ポディソニック）が取り付けられているが、これは新幹線の寒すぎる冷房と同様、過剰なサービスの以外の何ものでもなく、映像にとって決してプラスではないと思うのだが……。これらの映像シアターの疑似体験は、ポピュラーでオーソドックスな映像であることにおいて観客を満足させるだろうが、それが限界でもあるのだ。

しかしそれよりも、このポトピアにおいて、最も顕著に現れた映像表現は、次の三つの特徴に見ることができさる。

まずそのひとつは、映像自体がすでに特別な売りものでなく、展示構想の流れの中でのひとつのディスプレイとしてさりげなく使われていることである。テーマ館では、ポトピアのメインテーマでもある「新しい海の文化都市の創造」のテーマ展示の中で、それ自体が一個の美術作品でもある山口勝弘のビデオ映像装置「光の海」は、くり抜かれたミラーから美しい海のマンダラ図を展

開する。神戸館も展示展開の中で、気球で見降ろした神戸の街並を「スカイビジョン」として映像展示している。ともに眼下の水平映像面をのぞき込むという視覚体験の変化をうながすものである。また垂直に等間隔に張られたテープ状のスクリーンが前後左右に動くのはフレッシュユライフ'81のパビリオンで、スライド・プロジェクトジョンと音響にスクリーンが呼応することによってちよつとしたインパクトをもっていた。またサンヨーソーリアムの一室の一大カレードスコープは、天地左右の鏡像効果を生かした映像づくりで、観客の目を快く刺激する。ここではもはや方法の常套性云々はあたらない。

二つ目として、展示要素としての映像が、オブジェや造形物など他のディスプレイ要素と組み合わせられ共存している例である。三菱未来館の巨大な映像パノラマがそれである。円形パノラマの周囲を移動する回廊（ラウンドロード）から中央眼下に施された動くパノラマ、その周囲を三六〇度スクリーンの映像がエンドレス上映（上演）される。ここではラウンドロード

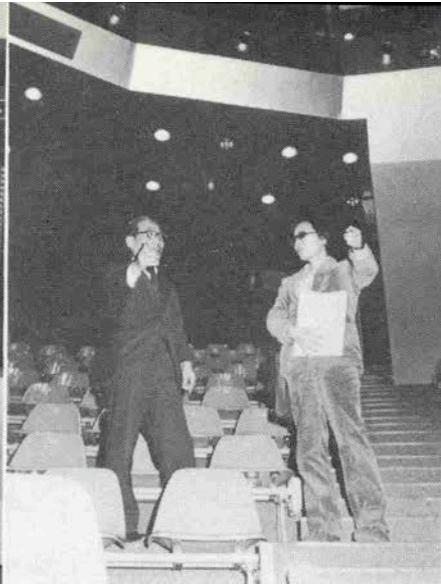


福野輝郎プロデュース「ビデオコーンタワー・Kの塔」（テーマ館）

の近くに立つ人形「アクアレディ」がおもしろかった。宇宙人のようなその顔は、ナレーションに合わせて表情を変化させるのだが、口の動きなどやや不自然であることがいつそうリアルな感じがする。実はこの顔は四万本のアクリル製の光学繊維（オプチカル・ファイバー）の断面で造形されており、もう一方からアニメーション・ビデオが高輝度ブラウン管で送り出されるスクリーンなのだ。新しい映像ディスプレイとして注目すべきものだが、ぼくは、かつてある美術家が制作したオブジェを思い起こした。それは小さいブラウン管の表面に接着されたガラス繊維の束が画像を引っ張り出していると



(左) ビデオによる郷土紹介、兵庫縣館のビデオライブラリー



(右) 川鉄地球館にて袖本敏馬さんに説明をきく。

いうふうな新鮮な作品であった。ところで三菱未来館の映像や音、パノラマの動きはすべてコンピュータでコントロールされている。映像に加えてコンピュータが今回ひろく活躍している点も見落とせない。

そこでコンピュータ技術を支えるエレクトロニクスの映像としてビデオの進出が挙げられる。これが三つ目

の特徴である。ビデオをふんだんに採り入れているのはテーマ館である。ミラーとビデオの万華鏡を見せる山口勝弘は、館内の池に構成された大小のモニター群に映像の噴水「ビデオ・フォントナ」を映し出す。また福野輝郎プロデュースの「ビデオコロンタワー・Kの塔」は、高さ五・五メートルの巨大なとうもろこしで、その一粒一粒がブラウン管で構築されているのが意表をつく。映像は約三分の一しか映らないが、当初の構想どおりすべてのブラウン管に映像が満たされたら、造形物でありながら、その造形性は全く消失してしまうに違いない。そのとき「Kの塔」は完全な情報塔と化することだろう。

「Kの塔」から流れるタンゴを聞いていると、情報塔の先輩格である昔日のバリの広告塔を連想したりした。さらに同館の目玉であるハイオービス劇場は、中央に二十六インチのブラウン管六十四個からなるマルチモニターと左右の三百インチのビデオスクリーンが、ビデオカメラ、マイク、応答スイッチを備えた観客席の六十四のブースと連動する。さらに三宮と会場を光ファイバーで結ぶこの双方向情報システムは未来のコミュニケーション・システムのひな型といえる。ただ常時行われている催が十分にこのシステムを使いこなしているとはいえず、今後その使い方が研究課題となるだろう。会期中ここで行われる「ポートピア'81国際ビデオアート展」のシンポジウムやパフォーマンスに期待したい。またビデオによる郷土紹介とビデオライブラリーのテープ検索装置を併せて見せる兵庫縣館は、映像情報のファイリング・システムの未来を示唆するものでこれは一見に値する。

このようにポートピアの映像展開を一巡してみても、展示の方法としての映像のあり方が、また新しい技術をいかに使うかという点に関心がはらわれているという感を強くした。そしてテーマのせいもあるが、これらに映像の格一化を感じるとすれば、問われるべきは「何を映すか？」という表現のコンセプトにはかならない。

〈特集〉

ポルトピア'81の中の文化探険

III

# 港桃源郷 百花繚乱

林 愛艶

(ローズガーデンオーナー)

●ファッショナライブシアター／異人館通り  
サンヨーソーラリアム／ガラテ館



三才になったばかりの理<sup>カ</sup>蘭にクレヨンを渡すとまず黄色で大きな丸を描く、その中に目らしきものを二つ描いて、次に口らしきもの、どういうわけかおハナがない。真赤なクレヨンに持ちかえて服をグチャグチャと描く。子供はどうしていつも極彩色の服を描くのか、赤か黄のチューリップを描くのか。私の子供の頃を思い出してもそうである、常に色は鮮やかなのだ。必らず太陽は燦々と輝き、海はどこまでも青い、木々の緑、真白な雪、そういう自然にあるものが、ごく幼い子供たちにとっては全てであるみたいに。

金色の世界、極彩色の宇宙「ファッションライブシアター」はそんな私の疑問を氷解させた。メカニズムの真髄ともいべきシンセサイザーで創ったサウンドが、もつとも無限の宇宙——自然を顕わしているという不思議に包まれながら、太陽の赤・土のおいの赤を纏った女たち、凝った手刺繍で着飾った旅の辻音楽師が静かに立っている。焰色のターバンを巻いた男もいる。五穀豊饒を祈る緋の女たち男たち。顔つきは隣りの人々。

「こどもたちの、こどもたちの、こどもたちへ

いまから一万年以上も前に

最後の氷河期が終るころに  
ペーリング海峡が陸続きだったのを

知っているだろうか  
私たちは日本民族であり  
モンゴロイド人種なのです。……”

コロンプスより前にモンゴロイド人種はアメリカ大陸を発見し、アングス高原台地にインカ帝国を開花させた。平和な農耕生活は自然崇拜を生み、神への感謝を心に植えた。身に纏うものは自然の中の色であり、自然への讃歌なのだろう。鳥の嘔りでなく、無機質な金属音のうなりで朝目覚める。都会の中で切り取られた自然を一杯享受しようと空間を考え、室内の緑で楽しもうとする。街は草いきれでむせかえるかわりにガソリンのすえたにおいが私たちの五感を麻痺させる。風はどちらの方向から吹いてるのだろうか。春秋の機微を心に受けとめ、超在意識を目覚めさせることが難しくなっている。観念や概念で物事を判断し、自我意識にこだわる。分析的思考に夢中になり、総合的直観が鈍化する。心象の世界は西洋の合理主義の否定から生まれる不合理の余韻から発している。人間を肉体を一つの独立した小宇宙と考える。宇宙は限りなく広く、無極であり、自在である。変転やむことない大宇宙の陰陽は「終われば、始まる」循環する大自然であり、原始的生活感情の単純さをもって体受されるという。仏教の輪回の法則、因果の法則は私たち



ファッションライブシアターは土のにおいの民族衣装を展示。極彩色な、仕事の豪華なものが多い。(左)人気の異人館通り。風見鶏の館の隣りにうろこの家がある。

東洋の人々の血肉となつてゐるはずだ。西洋文明が求める自由・反し、東洋文化が求める和も人間が宇宙であるという信念のあらわれではあるまいか。

「天の時は地の利に及ばない。」

地の利も人の和に及ばない」

『孟子』

「アーデルハイドちがうの、ハイジ」理蘭が夢と現実の谷間から目覚めた。彼女にとってはハイジは自分自身なのである。執事のロツテンマイヤーさんが大人の考える作法——知識を一方向的に教えこもうとしてゐるのを理蘭なりに反発してゐる。アーデルハイドは本名であつてもハイジ自身ではない。理蘭がどこまでわかつてゐるかは疑問だが、理蘭にはハイジが理不尽なことではじめられてゐると映つてゐるようだ。ハイジがクララに話す山の生活、風に吹かれておしゃべりする樅の木、吹雪の夜のオーケストラ、羊たちのコーラスはテレビというマスメディアを通して流れる理蘭の自然の一部なのだ。クララが山の生活の中で、自分の足で大地を踏むことが出来るようになるのも人間が自然と一体化し、自然のリズムと波長を合わせて生を得ていることのも現われではないだろうか。

太陽の民族アステカ文化のシンボル「太陽の石」、サンヨーソーラリアムは「太陽への讃歌」をテーマに、太陽の無限の可能性への憧憬を現わしている。聞くところによると一人の人間が一年間に太陽の熱と光となつて送られてくるエネルギーを活用しているのは時間に換算すると、たった三時間と少しだそう。つい先日、太陽エネルギーを貯蔵することが出来る物質が発明されたと新聞で報じていたが、そうならば、狩猟民族型の発想にもとづいた石炭・石油などの化石エネルギーを狩猟してゐる時代、エネルギー狩猟時代



ソーラーシステムの説明を聞く林さん。右は南ガラテ館の海中ハウス「ガラテ」の展示の前で。人間の将来の住宅状況は広がる……。

から、太陽エネルギーを耕してつかう、エネルギー耕作時代に大転換する時代”というファッショントライプシアターの未来に呼応する。

身近かある太陽エネルギーを活用しようとすることは枯渇しようとする石炭・石油の資源の取り合いという国家間のエゴから解放されるし、大規模開発でないのが自然を破壊しない。なによりも無限であるし、公害がない、それにメーターがないので電気代がいらぬ。ほどほどに、ゆっくりと、静かに、やさしく。原始より太陽は神であり、女性も神であった。男性的狩猟時代から女性的耕作時代に。種を蒔く、水と肥料を上げる、雑草を抜き、ゆっくり成長を楽しむ。収穫を喜び、自然への感謝の祭りをする。自然の中にあるからあの燃えたつ赤の衣が、野の花の紫が、若葉の勢いが、着い着いどこまでも続く空が、虚空の風の色が、自分の額の汗が美しく見えるのであろう。ファクションが取り澄まされた空気の中で、一部の人々の占有物であった時代は終わった。クリスタル族の crystal illusion (幻影)ではなく、各々のライフスタイルに溶けこんだファクション、自分の目で選び、自分で耕し、育て、自分の肉体(個性)となるファクションの時代だ。華美な流行の洋服より大地の、ら着の方が存在感があり、血がかよい、美しい。街づくりも同じことがいえるだろう。無は有に通じる。自分たちのまわりを見つめなおし、地道に一步一步、ゆっくりと、「終われば、始まる」、決して力まず、柔軟な心をもつて、自然に溶けこみ、おだやかに、ジョン・レノンの“Imagine”の世界のように、行雲流水のように、春が来れば桜が咲くように……。

ポトピア(港桃源郷)という未来都市——「新しい海の文化都市」の創造”も人工(物質)という陰の美と自然(精神)という陽の美が、ゆっくりと円運動をはじめ、バランスのとれた美しさに昇華することが出来るようになれば、本当の意味での剛(迫力)と柔(美しさ)が生まれ、人間の人間らしい都市になるのではないだろうか。



雨の日は傘を片手にお目当てのバピリオンに入るため長時間並びます。

〈特集〉

ポートピア'81の中の文化探検

Ⅳ

●テーマ館/ダイエーバピリオン/サントリー「ウオー  
ターランド」/神戸館/ファッシュオンライブシアター  
日本アイ・ビー・エム館/フレッシュユライフ'81  
ガラテ館/異人館通り

『ポートピア』は'81  
時代精神を反映し  
未来への展望を切り拓くか？

武田 則明 (建築家)

△その一▽  
午前十時ごろ多勢の子供つれがぞろぞろ南へ向って歩いていきます。途中の旅行代理店に人の列が出来てしました。のぞいて見ると、ポートピアの入場券を売っているのです。えらいことです。会場まで約四十五分かかりま

す。ピクニックを兼ねた楽しい遠足といった感じですよ。フラワーロードも整備され、舗床も美しくなり、彫刻も列び、水も流れ楽しい雰囲気です。

また税関からポートターミナルまでの港の仕事場を見ながら神戸大橋を渡り中公園、中央大通を歩き会場に致る変化に富んだ神戸の一断面。商業、業務地と、港湾機能地を見せ、新しい都市へ導入する、社会見学が用意されたポートピアまでのアプローチは心にくいばかりの演出です。

△その二▽

三月二十五日にポートライナー三宮駅に行きますと、まず切符を買うのに長蛇の列です。ガートマンに誘導され切符を買い階段を上げ上がりますと、次の次のポートライナーに乗るためにプラットホームに並びられましたそれにしてもよく事故を起こすポートライナーです。全ての新しい技術には初期トラブルがあり、それを過ぎると最も安定した時期を迎え、また最後に老朽化してくとトラブルが多くなります。最近の新幹線の事故の多くは末期的なものです。これは部品を新しく取り替えなければ良好な状態を維持できません。これに比べてポートライナーは初期事故で初歩的なミスが多いようです。友人にはポートピアに行きたいがポートライナーが不



安で、車体の中に長時間閉じ込められたり、また乗れなくなっちはえらいことで何とかしろと冗談をいわれます。何だかポトビア期間中が試運転調整期間中で、入場者にはポトライナーの最大能力調整立合検査をさせられているようです。このように不安定で、しかも予想入場数を輸送出来ないポトライナーがむしろ'80年代を表徴しているようです。それはポトビアのお祭の異常な人出のために設計された乗物ではなく、ポトビアが終わった後の平常な状態での人々の輸送のために作られた乗物だからであり、むしろ輸送出来ないことを嘆くよりも運び切れないぐらい多くのお客様が集まってこられることこそ喜ばなければならぬでしょう。この不安定で、輸送能力不足のポトライナーにもかかわらず一週間で五十万人を越す入場者があったとの報道に接し、ますますおどろかされました。まさに神戸の'80年代を表徴し、不安定で不十分な道具で、すばらしい成果を獲得するといった未来予想にびつたりポトビアかも知れませんが

### 〈その三〉

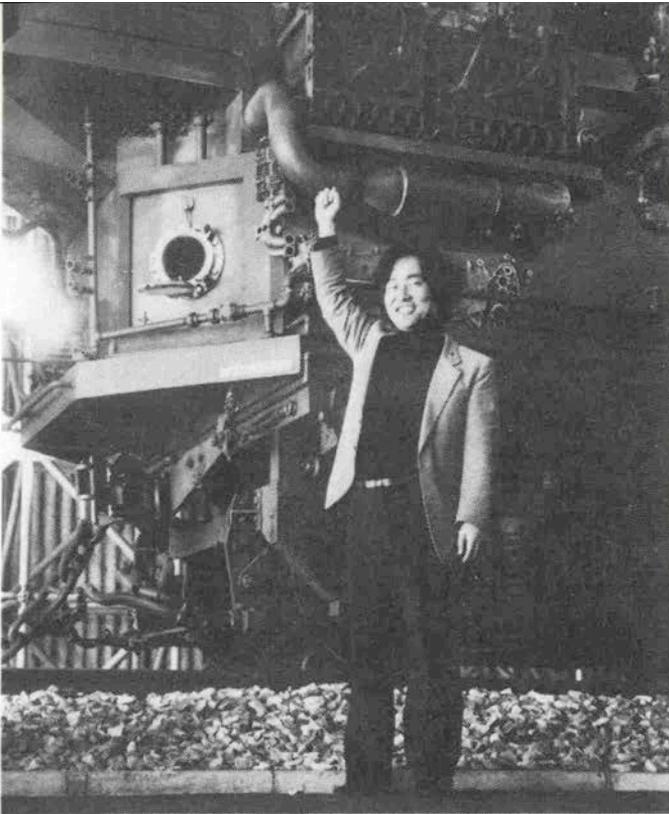
この新交通の市民広場で下車して、中央ゲートを通りベニスのサンマルコ広場に似た市民広場を抜けると、小雨煙る正面に鉄板ベンキ塗りのテーマ館が見えてきます。パイプの立体トラス架構と全体が黒い色で統一された中にお目当て榎忠さんの巨大な「ロブスター・P-81」がテーマ館の一番良い所にデンと座っています。いや立っているといった方が良いでしょう。機関車のようにあり、潜水艦のようにあり、重量感がある真黒な鋼鉄のかたまりです。でもひよっとすると、この薄っぺらなテーマ館を打ち破って飛び出しそうです。少しSF的なこの巨大なおもちゃを一生懸命創った遊びの精神に敬意を表明します。

### 〈その四〉

テーマ館を出ると、そうとう強い雨になってきました。多勢の人が傘をさしてパビリオンの前に列を作っています。ダイエー館では一時間以上待って十九分のオムニマックスを見た子供づれの父さんが話していました。IBMパビリオンのちよつとした庇の下で大分から修学旅行できた生徒が折詰弁当を食べているのがかわいそうでした。私もガイド役の若い編集嬢手づくりの弁当をどこで食べようかと、あっちこちうろろしました。パラソルがあっても椅子が雨でべとべと、結局住友館の裏の少し大きなテントの下で一つのテーブルを何組かのファミリーと共同で小さくなくて食べた次第です。

会期中は梅雨もあり、台風もあります。この会場は余り雨天のことには考慮が払われていないようです。雨の日にはポトビアに来るなということでしょうか。せめて修学旅行の生徒や

親友の榎忠さんの作品、ロブスターがテーマ館の中でがっしり位置しています。



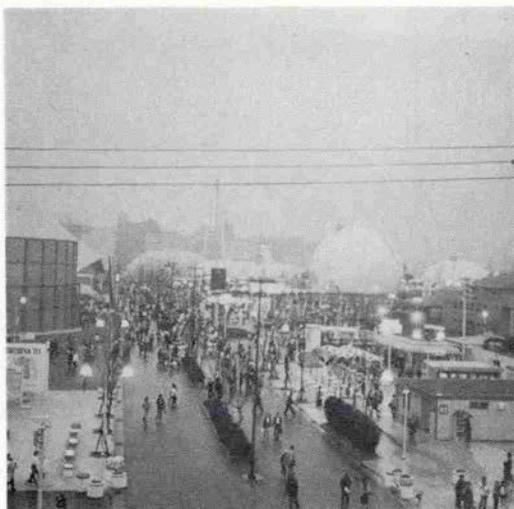
農協の団体等日時のかえられない人々のために雨やどりしながらお弁当が食べられるスペースが今からでもほしいなあ。真のホスピタリティーにはお客様へのちよっとしたサービス精神が必要でしょう。

### △その五▽

明治から大正時代の異人館や和風住宅が太秦の映画村のように異人館通りに再現されています。古い住宅を喫茶店や食堂、売店に機能変化して再現しているのですが何の抵抗感もなく、むしろ神戸の古い建物の再活生の方法を示しているようでした。大変な人出で、緑日の夜店



このしかけわかりますか？



小雨にけむるポートピア会場もロマンティック…(ポートライナーより)

をしっかりしたようで大成功のストリートでしょう。ただこれら建物の裏面に描かれた壁画は余りにも時代と雰囲気が違いすぎます。ここはホテルからも、ポートライナーからもまる見えの大切な所でもっと注意を払うべき所でしょう。芝居の大道具の裏側を会場外の人に見せるといふ深慮があったのでしょうか。

### △その六▽

今から三十一年前に王子公園と湊川公園で神戸博が開かれました。私は小学生で、物資不足の時代ですから木造やモルタル塗など材料としては安物ながら新しい時代が来るという希望がひしひし感じられました。当時いろいろな博覧会が日本国中で開かれたのですが、シナリオを作り、テーマ展開法という機能的な方式を採用したのは日本では初めてのことであったそうです。全体計画は新制作協会の丹下健三・山口文象・池辺陽などによりなされ、大阪の事務所と神戸の笠井・置塩事務所によってパビリオンが設計されたものです。

ところが今日のポートピアはどうでしょうか。国内展示館、外国展示館、会場周辺施設としてのホテル、スポーツセンター、国際交流会館、神戸中央市民病院など約四十棟の建物の一棟も地元神戸の事務所が設計していないことに驚きと反省を感じています。それは神戸の建築家が大阪や東京の建築家達に設計能力が劣ると見られ、企業に対しても役所に対してもPR不足であるという反省と、ファッション都市を標榜しているまちの市民、企業あるいは行政が地元の建築家を認めていないことと育てようとしていないこと。常に海外を含め大阪、東京といった外を見つめているが、地元のオリジナリティーを軽視する輸入文化のせいかと考え込んでいく訳です。

そこでファッション都市として発展していくためにもいろいろな分野のデザイナー、音楽家、画家、小説家などの芸術家、そして建築家も含めたオリジナリティーを育てはぐくむ転機として、ポストポートピアの施設設計に神戸の建築家を登用すべきではないかと思えます。

〈特集〉  
ポトピア'81の中の文化探検

V

●兵庫縣館／日本アイ・ピー・エム館／UCCコーヒー館  
中国天津展覽館

# 歴史の痛みを 感じつつ…

蒼竜一（作家）



「歴史は人類の巨大な恨みに似ている」とは、小林秀雄の言葉であるが、私は、「兵庫縣館」の展示する、兵庫の自然と人間の歴史を見て回りながら、歴史—人間に  
とつての時の流れ、とは一体何物であろうかという思い  
に絶えず捉われていた。過去を哀惜する我々の精神構造  
そのものが、流れ行く時の唯一性を逆に教えてくれてい  
るにしても、心情的には、歴史は人間の小さな哀しみの  
寄せ集めのような気がしてならないのだ。「銀河鉄道999」  
の星野鉄郎はどうして、機械の体を貰わずに、人間とし  
て有限の時間を生きようと決意したのであるうか。永遠  
の生命を得て、歴史の証人として過去から未来へ生き続  
けることが、なぜ随地獄の苦しみを意味するのか。ここ  
に見られる生の本質は、人として生きることの哀しみで  
あり、私達の人生の歴史が、そのような痛みを拾い集め  
たものとなる以上、永遠にそのような哀しみを見続ける  
ことに、もはや人は耐えることが出来ない。だから死は  
在ったものではなく創られたもののような気がする。

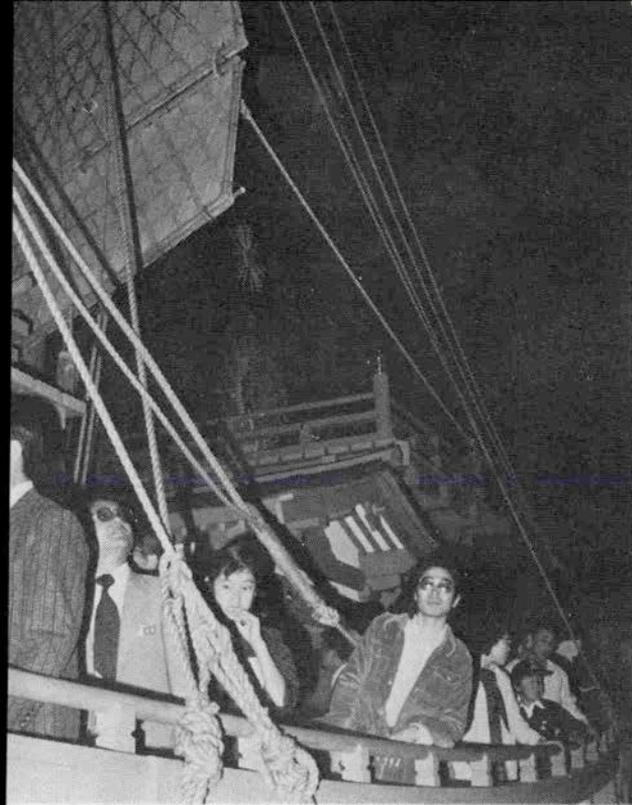
私の目の前に今、明石原人の復原像がナウマン象の横  
に立っている。五十年前の洪積世のものだと言われた、  
その人骨は空襲によって焼失したらしいが、私はその人  
骨を明石海岸で発見した直良氏という民間の学者（氏は  
その外にも栃木、鳥取両県において原人の骨を見つける）

の、心の内に魅かれる。原人の骨を追って一生を送る人  
の存在が示唆する、人生なるものの、正体にある。

左手に回り奥に進むと、平家物語の世界が展ける。こ  
こで決って語られるのが、青葉の笛の哀切な物語である。  
さらにまた、有名な義経鶴越の逆落しであろう。三木の  
辺りから義経は、福原へ南下して行く訳だが、主力を摂  
津源氏多田行綱にあずけ自らは七十騎（「吾妻鏡」）を率  
い、鶴越へと出る。現在の鉄拐山の東南壁の崖と言われ  
ている。正面生田の森からは範頼、一ノ谷から安田義定  
と三方から平氏を攻め立て、わずかに二、三時間の間に、  
平家の軍勢に潰滅的打撃を与えた。打たれた大将通盛、  
忠度、経俊を初めとして、青葉の笛の主人公十六歳の敦  
盛にいたるまで一門の多くを失い、平家は海上を屋島へ  
と落ち延びて行く。

寿永三年二月四日は、清盛の命日で、「平家物語」で  
は、「仏事をとげさせんために寄せず」と殊勝なことが  
書かれており、「五日は西ふさがり、六日は道忌日（外  
出をきらう日）」と迷信を担いだりして、結局七日に源  
氏は平氏を攻撃することを決定。「吾妻鏡」には、七日、  
雪降る。とあるから、実際は足が滑って、講談のように  
はうまく行かなかった筈だ。

しかしながら、私達は語られる歴史の裏にある余り愉



実物大で遺唐使船を復元した日本アイ・ビー・エム館。

甲冑の隣りに十二単の女官の像。最近では喫茶店のウェイトレスでもパンツを穿かぬと聞いているのに、これはまた沢山着こんで大変なことだと（もちろん当時もパンツを穿かなかった訳だからここでも歴史は繰り返しているのかと）。次に姫路城の実に精巧なる復元模型が現われた。

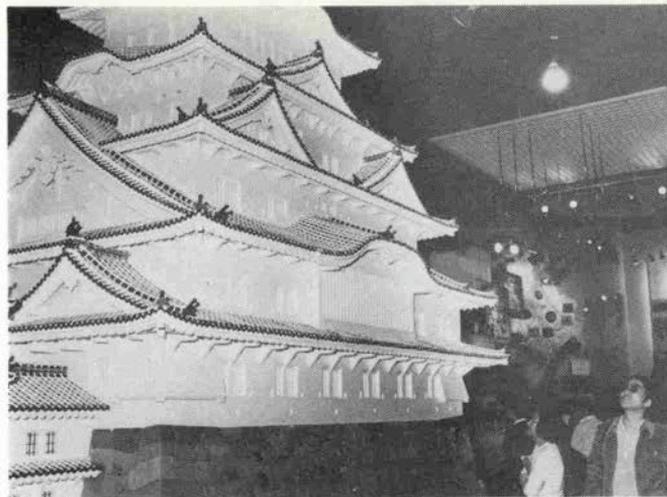
私は小学生の時、母と中学生の姉の三人でこの白鷺城に登ったことがある。なぜ登るようになったのか全然覚えがない。ともかく偶然登るようにな



1760年頃のロンドンのコーヒーハウスを再現したUCCコーヒー館。人形が時々動く。

快とも言えぬ真実を目を向けねばなるまい。頼朝が義仲と闘っている間に、みるみる勢力を盛り返した平氏一門が福原に陣どり、再び京に入らんとする矢先、後白河法皇の和平交渉の陰謀に引掛った平氏が全軍に休戦命令を出した。そこへ源氏の軍勢が崩れ込んだのが真相らしい。ダマシ討ちにされたのである。この条で私の目を睡らせたのは、遁走する平家の兵たちが船に押し寄せ、身の高い者は船に乗せその他は乗せるなとして、船舷につかまる兵たちは腕や肘を切り落とされ、水際は朱に染って死体が並んだという「平家物語」の一節である。ここには歴史の流れから切り落とされて行く人民の何時にも変わらぬ、悲しい姿があるようだ。これは決して過去のものではない。闇から闇へ葬られるこれらの出来事は、姿を変えて何時の世にも生きている。吉村昭「海の柩」には、北海道西岸で撃沈された輸送船から脱出する救命ボートに乗る将校達が、船にしがみつく部下達の腕を数え切れぬほど切り落としている。その死体が連日浜に打ち寄せ足の踏み場もなかったとある。三十年前かに実際に起きたおぞましい出来事である。

表立った歴史は繰り返さなくとも、まさしくこのような意味では裏の歴史は繰り返す。



(左) 高さ3.8mの姫路城大模型が目を引く兵庫縣館。



(右) 万里の長城の段通も飾られた中国館。

った気がするのだが、それも判然としない。ただ、母と姉が異常に恐がっていたことが、鮮明に記憶に残っている。今と違って夕暮に近い城内には人の姿は見えず、ただ一人酔っぱらいが、柱隠れに私達の後を追って来て、三人の母子は最後には手をとり合って駆け出したのを覚

えている。蒼ざめた母の息づかいまでが聞こえてくるような気がする。その時の母は今の自分の歳と変わらなかつた筈だが、思い出の中の親というものは、何時でも自分より年上のような気がするから、妙だ。母は死んだが、自分が親より長生きをしても、恐らく自分の中にある母は何時も、自分よりは歳上であるのだろうな、——紙数の都合で割愛、次に移ろう。

UCCコーヒータン館に入ってみた。

「お湯で割ったらアメリカンと申しますが、アメリカのコーヒータンは薄く煎ったのをお湯で割った薄いものがございます」、「アメリカンはブランドではなかったですか?」、「いえ、コーヒータンの説明をしているのでございます」、「などと言われて、笑顔で次々と送られて行く。終戦直後のあの時期に育った私達の年代の所為かもしれないが、私は中学二年生までコーヒータンを知らなかった。社会科でコーヒータンの生産国などと習いながら、飲んだことはもちろんのこと見たこともなかった。恐らく当時のクラスの半数以上の者は、知らなかったのではあるまいか。その私が、アメリカのコーヒータンを呑み、ブラジルのカフェを好んだ。ブラジルのコーヒータンの呑み方は、ウイスキーのシングルグラスをもう少し胴長にしたようなガラスの器に、底四分の一ほど白くない砂糖を入れて、そこへコーヒータンのエキスの如き濃いのをたらす。一杯にして掻きまぜないで、ちびりちびり呑むのだ。これが一等美味。香りは日本での挽きたてのものに比べて数段きつい。この館内では、私個人のコーヒータンにまつわる過ぎ去った時の流れの中に耽ってしまったようだ。

他に日本アイ・ビー・エム遣唐使館では、二十メートルに及ぶ実物大の遣唐使船を見、中国館では、神戸の友好都市天津市の展示場を見て回った。が紙数の都合で割愛せざるを得ないこと、誠に残念である。最後に列を作ってお奨めする。本当に見てためになる所というのは、いつでも空いているものだから。熱烈歓迎!

Orthodontist



播磨矯正歯科

神戸・元町 ☎391-5288



この道ひとすじ  
伝統の味を贈りものに...



菅園は百有余年  
お茶は千年、  
心にしみるお茶の味  
銘茶 千年



神戸銘菓  
玉すだれ



銘茶の老舗

菅園

本店 / 神戸市中央区多聞通3-2-15  
湊川神社前 TEL.(078) 341-1401(代)

世界の片田舎から.....



舶来民芸品・アンティーク・チェス etc.

# 神戸コレクション

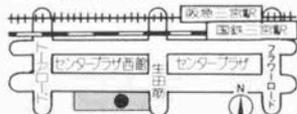
〒650 神戸市中央区北野町4-12-5  
北野通り店 ☎ (078)222-2468  
異人館通り店 ☎ (078)222-3600

ファッションに  
“贅”を尽くすのは素敵。  
でも、  
いつも美しく着ている  
人はもっと素敵。



技術に贅を尽くしファッションを  
常に美しく——ニシジマ

- 型くずれの防止 ●素材感の回復 ●カラーの作成
- お客さまのお好みにも合わせた仕上 ●ファッションク
- ーニングの最新情報の提供



神戸市中央区三宮町2丁目10番7号  
グレイス神戸B1 ☎ (078) 332-2440

## 経済ポケット ジャーナル



### ★神戸JICが新空港誘致へ 実行委員会を設置

開西新空港の建設をめぐって石井試案の発表以降、開西経済界では泉州沖か阪神沖かをめぐる議論が沸騰しているが、神戸青年会議所では3月20日オリエンタルホテルで開催した例会の席上、「新開西空港神戸沖誘致推進実行委員会」(西村隆治委員長)を設立、積極的な誘致運動に乗り出した。神戸JICとしては3年前から空港問題プロジェクトチームをつくり、一貫して「神戸沖に新空港を」と主張してきたが、「現状の

ままでは泉州沖の空港は実現不可能。開西の地盤沈下を招く」と実行委員会の設置に踏みきったもの。

当日は石井一代議士、小森星児(神戸商科大)、三浦保(神戸新聞)、佐藤一段(サケイ新聞)らの参加で「神戸の未来と新空港」と題したパネルディスカッションも行なわれ、白熱した議論が展開された。

### ★兵庫経済研究所を60年に 完成—兵相銀が設立

兵庫相互銀行(長谷川寛雄社長)は、今年10月で高松相銀と合併して10周年、来年は前身の三木勧業株式合資会社が創立して70周年を迎える。この記念プロジェクトの一つとして、「兵庫経済研究所」(仮称)を設立する。加納町2丁目の旧本店跡地(約八百平米)が59年に神戸市より返還されるのを用地にあてる。

地元の学者、経済人の英知を結集して具体的な構想

練りあげたうえ、3億円の基金で財団を設立して60年には活動を開始する予定だ。「合併十周年記念行事委員会」(委員長・伊藤豊輝副社長)で準備作業を進めているが、兵庫県下の地域経済を大局的につかみ、その発展に寄与することが大いに期待される。

### ★南ビルが社名変更

南インターナショナルにパレスシリーズなど一連のヨーロッパ感覚あふれるマンション作りで好評の株



新築のグランドパレス上須藤と南社長



南ビル(南泰吉社長)ではポートピア'81(地元企業としてパビリオン)出展を果たすなど大いに気を吐いているが、3月20日より社名を「株式会社南インターナショナル」と改称した。

創業61年を迎えた同社では、不動産事業以外にもエグロコヒーマシナジなどの貿易部門、水陸両用艇ホーパージュエツトなどの船舶部門とよりグローバルに、より文化的に事業を展開している。海外物件のあつ旋にも積極的に乗りだしており、「世界中の不動産を売買する本邦唯一の会社」という方針がこの新社名にも盛り込まれている。同時に、資本金も五千万円から一億円に増資、今期の年商は80億円に達する見込みである

本社/中央区浜辺通5-1-14  
神戸商工貿易センタービル

### ★KOBEOフィスレディ★



望月 薫さん(20才)  
ハアンリ。

事務兼社長秘書(守守りという噂も)でアルバイト勤務中。といっても朝6時から起床、お弁当を作って8時半から夕方5時半まで週五日働いている。茶道、華道に加えて、習字、洋裁、箏曲、テニスクールと積古のスケジュールもぎっしりだ。ハキハキと自分の意見を述べ、美しい言葉使いが印象的な芦屋レディ。



熱気あふれたシンポジウム

未来空間を体験する祭典

# ポートピア'81

特報 神戸博のポイントガイド



★会期：3月20日～9月15日  
 開場午前9時30分・閉場午後9時30分  
 ★入場料：大人2,000円、高校生1,200円  
 中・小学生1,000円、幼児400円

## ポートピア'81 催し物

ビデオアート展シンポジウム  
 6月3日～4日 テーマ館

ビデオアートは未来技術を駆使した新しい映像芸術だ。未来都市での祭典・ポートピア'81で、ビデオアートの国際的なコンクールが開催される。

「ポートピア'81国際ビデオアート展運営委員会」(小松左京委員長)と博覧会協会の共催で、カナダ、ヨーロッパ、アメリカなど世界各国の一流ビデオアート作家約40人が出展、テーマ館のビデオアート・コーナーで上映されているが、これらの作品内容の審査を5月30日から6月1日に行ない、6月2日には優秀作品の発表・表彰をする。



運営委員長の小松左京氏

同時に、6月3日、4日の2日間「80年代のビデオと芸術」と題してダニー・ブロック(パリ市立近代美術館ビデオ部門)、パーバラ・ロンドン(ニューヨーク近代美術館ビデオ部門)、ヤシヤ・ライハート(元イギリス現代芸術研究所長)、小松左京、乾由明、福野輝郎、山口勝弘ら多彩な顔ぶれの参加でシンポジウムを開く。質量ともに世界で初の催しといつてよく、この機会にぜひ新しい映像の美しさと魅力に接してみよう。

## 日本の太鼓まつり

6月1日～3日 国際広場

日本全国の有名な太鼓の競宴が繰り広げられる。御実城太鼓、鬼太鼓(新潟)、岡谷太鼓(長野)、綴子太鼓(秋田)、御陣乗太鼓(石川)、知床いぶきたる(北海道)、椿山太鼓踊(高知)など勇壮な袍さばき、曲打ちの妙技が激突し、人工の島にふるさとの響きが鳴りわたる。

## NDKファッションショー

6月4日 国際広場

日本デザイン文化協会が主催する華やかなショー。

## アジア民族芸能 6月13日～14日 国際広場



南インドの舞踊劇「ヤクシャガーナ」

ネパール王国、インドの伝統芸能。共に仮面舞踊で戦い、愛、自然を舞いに、劇に、力強く、美しく、哀しく演じあげる。司会はテレビ、ラジオに人気の「チヤック」こと黒柳徹子が予定されている。

## ポートピアレコードフェスティバル

6月15日～19日 国際広場

わが国のレコード会社20社の代表歌手、新人歌手の競演。出演は松田聖子、河合奈保子など約40名。

△本欄では6月1日～20日までの主な催しを紹介しました。

- |                |                     |                      |
|----------------|---------------------|----------------------|
| 1 関西電力未来エネルギー館 | 10 三菱未来館            | 19 三井グループ館           |
| 2 松下館          | 11 「ハートピア」水遊びのパビリオン | 20 ダイエー(オムニマックスシアター) |
| 3 MINAMIガラテ館   | 12 サンヨーソーラリアム       | 21 住友館               |
| 4 国際3号館        | 13 サントリー「ウォーターランド」  | 22 神鋼ポトラマ館           |
| 5 国際2号館        | 14 国際4号館            | 23 国際1号館             |
| 6 テーマ館         | 15 フレッシュライフ'81      | 24 大阪ガス「ワンダーランド」     |
| 7 芙蓉パビリオン      | 16 ファッションライブシアター    | 25 UCCコーヒー館          |
| 8 ポートピアみどり館    | 17 川鉄地球館            | 26 神戸プラネタリウムシアター     |
| 9 IBMパビリオン     | 18 兵庫縣館             | 27 神戸館               |

ポートピア'81  
会場図

